

取扱説明書 TOSHIBA Viewer V2

Wordcraft International Limited, ソフトウェア使用許諾書

購入の条件

本ソフトウェアは、「許可されている使用」に関する制限に従い、使用することができます。一旦お客様が本ソフトウェアをインストールされますと、製品に対する払い戻しはできませんのでご了承ください。この使用許諾書は、本製品が使用されているあいだ有効であり、以下に記載されている合意内容および条件に従わなかった場合に無効となります。その場合、本ソフトウェアのコピーはすべて破棄しなければなりません。

許可されている使用

最初の購入者は、本人が所有または使用している 1 台のコンピュータにおいて、商用または職業目的で本ソフトウェアを使用することができます。最初の購入者は、許可されている数(デフォルト: 1 台)の通信デバイスを接続したハード ディスク システムに本ソフトウェアを保存することができ、それを許可されている数のユーザーで使用することができます。通信デバイスの許可数は、製品の購入時にソフトウェア製品に含まれていたシステム設定ファイルで指定されています。許可されているデバイスおよびユーザーの数を増やす場合は、Wordcraft International Limited またはその認可代理店から有効なライセンス アップグレードを入手してください。

非許可の行為

- a. コンピュータ サービスまたは電子掲示板から本ソフトウェアをダウンロードすること、および Wordcraft International Limited から使用許可を得ずにマルチサイト環境で本ソフトウェアを使用すること。
- b. Wordcraft International Limited からの許可を得ずに、コンピュータ サービス ビジネス、ネットワーク、時分割、インタラクティブ ケーブル テレビ、または複数 CPU の環境で本ソフトウェアを使用すること。
- c. 第二すなわち別のコンピュータまたはネットワーク ワークステーションでシングル ユーザー バージョンを使用すること。複数ユーザー バージョンの詳細については、Wordcraft International Limited の認可取扱店または認可ディストリビューターにお問い合わせになるか、または Wordcraft International Limited に直接お問い合わせください。
- d. 第二すなわち別のネットワークでネットワーク バージョンを使用すること。
- e. 本ソフトウェアの改変または変更、本ソフトウェアの一部または全体と他のプログラムとの併合、あるいは本ソフトウェアのリバース エンジニアリング、デコンパイル処理、または分解。
- f. 企業ブランド、イメージ、ヘルプシステム、Wordcraft International Limited の連絡先、著作権や商標権の所有者としての Wordcraft International Limited の識別情報、もしくはそれらの関連部分に關与するソフトウェアの領域を見えなくすることは、Wordcraft International Limited の裁量により特別と認めた場合のみ本条項を適用しない。申請は Wordcraft International Limited に対し書面で行うものとする。
- g. 他人にサブライセンスまたは他の権利を賃貸、譲渡、リース、移転、または授与すること。
- h. Wordcraft International Limited に属する文書のコピーを作成すること。
- i. ‘Not for Resale (転売禁止)’、‘Evaluation (評価)’、または ‘Demonstration (デモ)’ のマークが付いたソフトウェアを売却または譲渡すること。
- j. 上記の「許可されている使用」に含まれていない他の使用 (本ソフトウェアの著作権を使用するためのライセンスが必要です)。

本許諾書の規定に従わなかった場合、本許諾書に含まれているライセンスは Wordcraft International Limited からの通知を受けることなく自動的に無効となります。

法律の適用

本許諾書には、グレートブリテン-北アイルランド連合王国の法律が適用されます。

制限付き保証

Wordcraft International Limited は、明示的または黙示的を問わず、本パッケージの内容に関して一切の陳述または保証も行いません。特に、特定の目的に対する市場性または適合性については、明示的または黙示的を問わず、保証の限りではありません。Wordcraft International Limited は、製品に欠陥があった場合に、その代わりとなる製品を提供するか、または現金返済を致します。ただし、現金返済の金額は、製品を最初に購入したときに支払った金額を超えないものとします。如何なる場合においても、Wordcraft International Limited またはその代理店は、特別、偶発的、間接的、または必然的に起こった損傷について一切責任を負いません (収入または利益の減損、職務の中断、損傷または損失データ、その他本製品のインストールまたは使用から発生したすべての損失、または製品を使用できないことによる損害などを無制限に含む)。

Wordcraft International Limited は、‘Not for Resale (転売禁止)’、‘Evaluation (評価)’、または‘Demonstration (デモ)’ のマークが付いたソフトウェアの使用から発生した請求について一切責任を負いません。

Wordcraft International Limited は、ソフトウェアの販売時に認められた用途以外の使用から発生した請求について一切責任を負いません。

Wordcraft International Limited は、サード パーティによる請求について一切責任を負いません。

Wordcraft International Limited に与えた、あるいは Wordcraft International Limited または認可代理者から与えられた口頭または書面による情報または報告は、新たに保証を与えるものではなく、如何なる方法においても、この保証の範囲を拡張するものではありません。

著作権

Wordcraft International Limited により作成されたソフトウェアおよびマニュアルは、国際著作権条約により保護されています。

商標

Wordcraft は Wordcraft International Limited の商標です。

他の商標はすべて承認されています。

これは、Wordcraft International Limited との合法的な義務契約です。上記の条件を承諾されない場合は、ソフトウェア パッケージを開梱せずに完全な状態で販売元にご返却ください。

© 2007-2011 Wordcraft International Limited

JPN

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。



操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。



操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

TOSHIBA Viewer V2

はじめに

「TOSHIBA Viewer V2」は、TOSHIBA デジタル複合機 e-STUDIO163/165/205、e-STUDIO 166/167/207、e-STUDIO181/182 を「コピー機」「プリンタ」「ファクス」を統合した複合機および TWAIN 対応スキャン装置として使用することを目的として設計されています。

TOSHIBA Viewer V2 の特長を以下に示します：

- e-STUDIO163/165/166/167/181/182/205/207 をプリンタとして使用する
e-STUDIO181/182 では、両面印刷を行うことができます。詳細は、本マニュアルの 31 ページを参照してください。
- e-STUDIO163/165/166/167/181/182/205/207 をスキャナとして使用する
- e-STUDIO163/165/166/167/181/182/205/207 の設定をコンピュータから行う
- TWAIN 対応スキャナを使って原稿のスキャンを行う

本マニュアルでは、GDI プリンタドライバ、TWAIN スキャナドライバと TOSHIBA Viewer V2 のインストール手順および機能に関する基本情報について説明します。

インストール



TOSHIBA MFP をコンピュータに接続する前に、本セクションを必ずお読みになり、記載されているインストール手順に従って作業を進めてください。インストール手順を間違えると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

必要環境

下記の必要環境は、動作を保証する最低限の環境です。一般的な Windows のアプリケーション同様、TOSHIBA Viewer V2 も処理速度がより速い CPU、あるいはメモリ容量がより大きな RAM を搭載したコンピュータの方が、アプリケーションのパフォーマンスは向上します。

TOSHIBA Viewer V2 をコンピュータ上で他のアプリケーションと同時にご使用になる場合は、処理速度がより速い CPU の搭載およびメモリの追加をお勧めします。

TOSHIBA Viewer V2 は、下記の Windows 環境に対応しています。PC が下記条件を満たしているか、ご確認ください。

OS:	Microsoft Windows XP Service Pack 3
	Microsoft Windows Vista
	Microsoft Windows 7*
	Microsoft Windows Vista 64-bit
	Microsoft Windows 7 64-bit*
	Microsoft Windows XP Professional x64 Edition
	Microsoft Windows Server 2003/2003R2
	Microsoft Windows Server 2003/2003R2 x64 Editions
	Microsoft Windows Server 2008
	Microsoft Windows Server 2008 x64 Editions
	Microsoft Windows Server 2008R2 x64 Editions*

* これらの Windows のバージョンをお使いの場合には、プラグアンドプレイでのインストールは動作しません。
TOSHIBA MFP に接続する前に、本マニュアルに記載されているインストール手順に従ってソフトウェアを正しくインストールしてください。


PC:	PC/AT 互換機、Modern Processor (x86) 800MHz 以上:
	Windows XP Home/Professional、Windows Server 2003/2003R2 または Windows Vista 32-bit
	PC/AT 互換機、Modern Processor (x86) 1GHz 以上:
	Windows Server 2008 または Windows 7
	PC/AT 互換機、Modern 64bit (x64) processor 1GHz 以上:
	Windows Vista 64-bit
	PC/AT 互換機、Modern 64bit (x64) processor 1GHz 以上:
	Windows XP Professional x64 Edition
	PC/AT 互換機、Modern 64bit (x64) processor 1GHz 以上:
PC メモリ:	Windows Server 2003/2003R2 x64 Editions
	PC/AT 互換機、Modern 64bit (x64) processor 1.4GHz 以上:
	Windows Server 2008/2008R2 x64 Editions
	PC/AT 互換機、Modern 64bit (x64) processor 2GHz 以上:
	Windows 7 64-bit
	128MB RAM (256MB 推奨): Windows XP Home/Professional
	512MB RAM: Windows Server 2003
	512MB RAM (1GB 推奨): Windows Server 2003R2
	512MB RAM (2GB 推奨): Windows Server 2008
	512MB RAM (1GB 推奨): Windows Vista 32-bit
	1GB RAM: Windows 7
	1GB RAM: Windows Vista 64-bit
	256MB RAM (512MB 推奨): Windows XP Professional x64 Edition
	512MB RAM (1GB 推奨): Windows Server 2003/2003R2 x64 Editions
	512MB RAM (2GB 推奨): Windows Server 2008/2008R2 x64 Editions
	2GB RAM: Windows 7 64-bit
ハードディスク:	インストールする Viewer V2 のコンポーネントやプリンタ/スキャナドライバにより、最低 20MB の空きスペースが必要となります。
ディスプレイ:	24-bit カラービデオカードおよびドライバ推奨
	Windows Vista/7 では、DirectX 9 (128MB 以上のグラフィックスメモリ)を必要とします。

TOSHIBA Viewer V2 を使ってプリンタドライバとスキャナドライバをインストールする

プリンタドライバとスキャナドライバをお使いのコンピュータにインストールすると、TOSHIBA MFP を使って印刷やスキャン操作を行えます。

インストールする前に

インストールする前に、下記をご確認ください。

- お使いのコンピュータに以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合には、Windows 起動直後にプリンタフォルダから削除してください。
 - Administrators (管理者) としてログインする必要があります。
 - インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
-  これらのプリンタドライバは、Windows の「プリンタの追加ウィザード」を使ってインストールすることはできません。インストールは以降のセクションで説明している手順に従って行ってください。

ドライバをローカルクライアントにインストールする

ドライバをインストールすると、以下の TOSHIBA Viewer V2 アプリケーションも同時にインストールされます。

- ViewerV2 (P3console) : ページをスキャンし、それらをドキュメントイメージとして保存するアプリケーションです。
- デバイス設定: コンピュータからお使いの TOSHIBA MFP をセットアップするためのアプリケーションです。
- P3import: 以前の TOSHIBA ソフトウェアからデータをインポートするためのアプリケーションです。以前の TOSHIBA Viewer, SmartLink2000 または ImageVision2000 がインストールされている場合にのみ、このアプリケーションはインストールされます。

以下の手順でインストールを行ってください。

1. CD-ROM ドライブに TOSHIBA Viewer V2 CD-ROM をセットします。

2. TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューが自動的に起動します。起動しない場合は、**スタートメニュー**から**【ファイル名を指定して実行】**を選択します。「D:¥Setup.exe」(Dドライブが CD-ROMドライブの場合)を入力し、**【OK】**をクリックします。

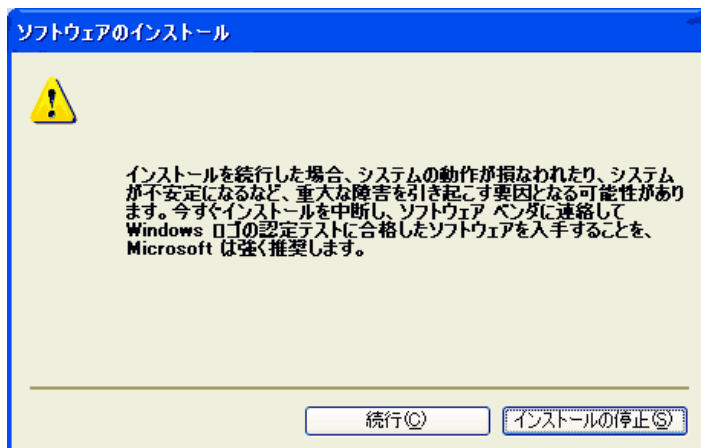


TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューの言語選択一覧から、使用する言語を選択します。

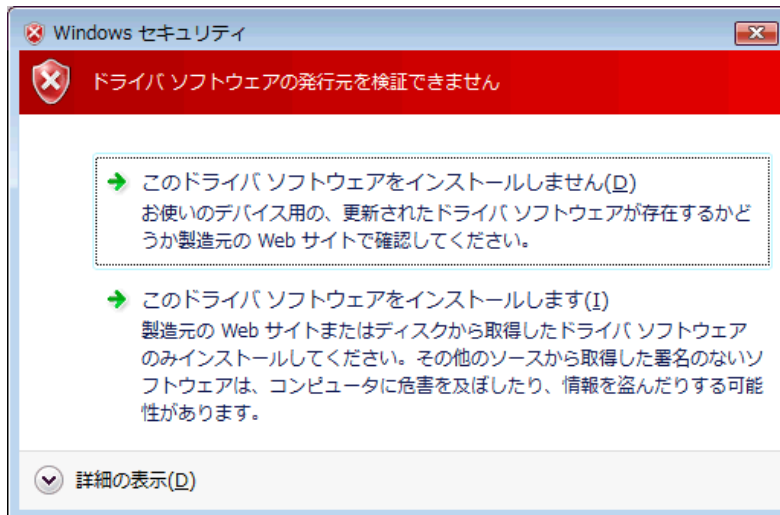
ソフトウェアをインストールします。(ローカル接続)をクリックします。

3. USBドライバが Windows にプリインストールされます。Windows の設定環境により、ドライバが Windows ロゴテストに合格していないことを示す警告が表示される場合があります。**【続行】**または**このドライバをインストールする**をクリックします。

Windows XP:



Windows Vista:



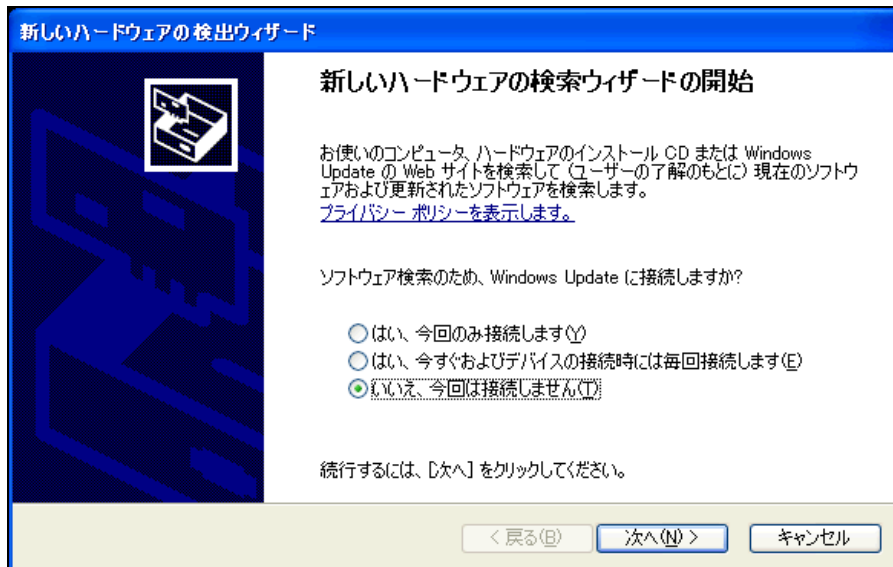
4. 下記画面が表示されたら、TOSHIBA MFP をコンピュータに接続し、電源を入れます。



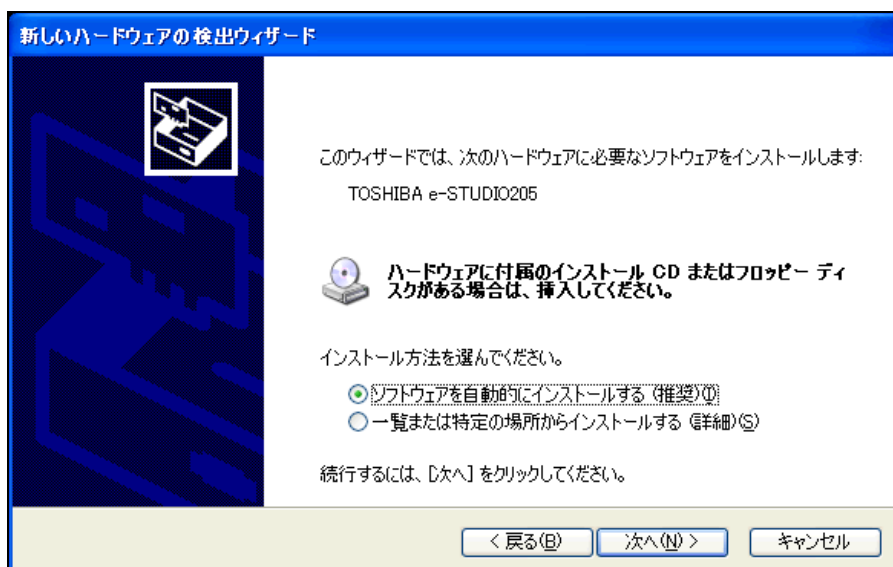
5. Windows が接続されている TOSHIBA MFP を検出します。

Windows 7 または Server 2008R2 では、Windows の設定環境によりドライバを検索するために Windows Update に接続する場合があります。その場合、インストールが一時的に中断することがあります。Windows Vista/7/2008 をお使いの場合は、ドライバがインストールされていることを示すメッセージが表示される場合があります。この場合には、手順 11 に進んでください。

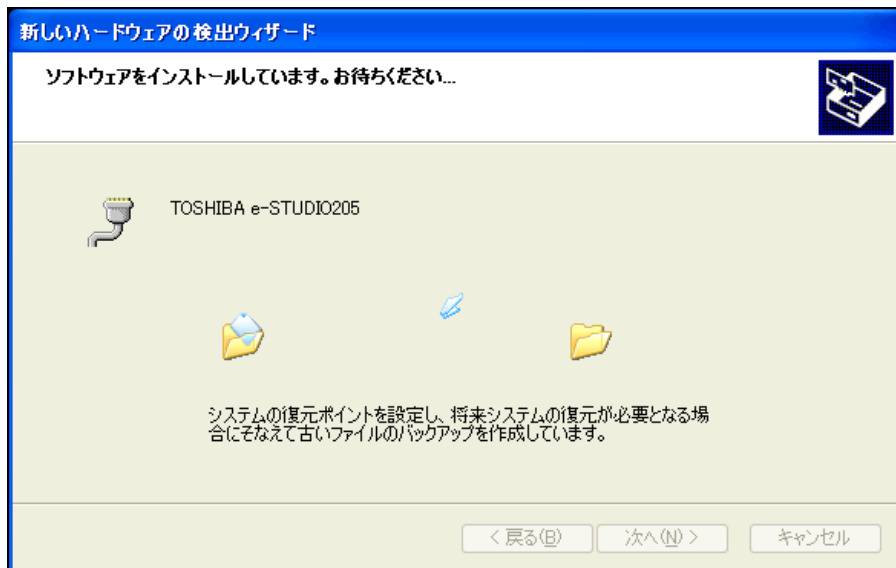
他の Windows プラットフォームで Windows Update に接続するための画面が表示される場合があります。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ]をクリックします。



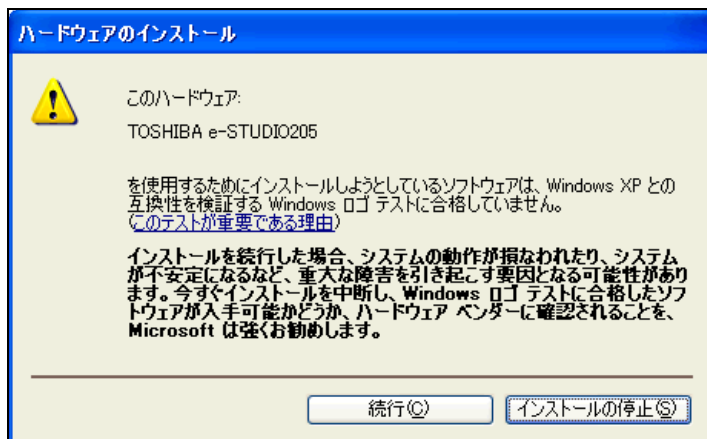
6. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。



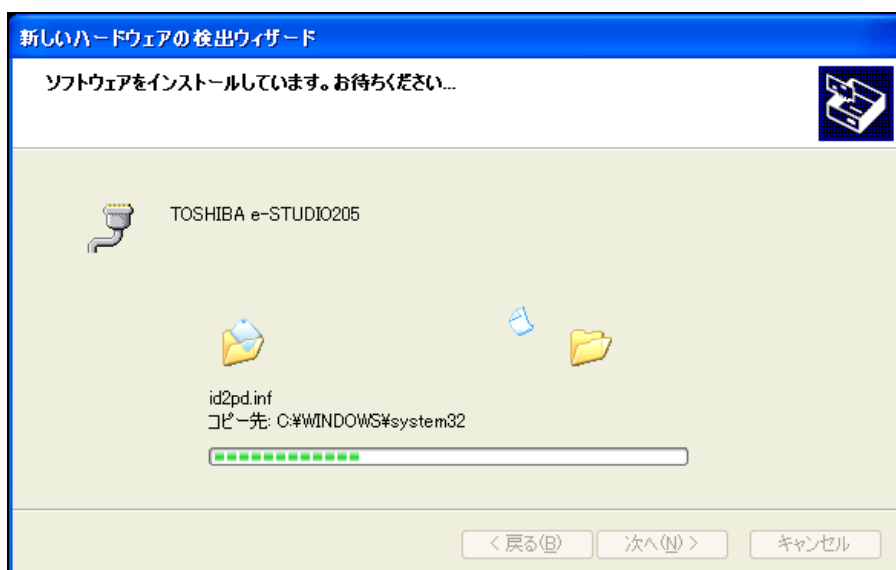
7. Windows の設定環境によって、システムの復元ポイントが作成される場合があります。



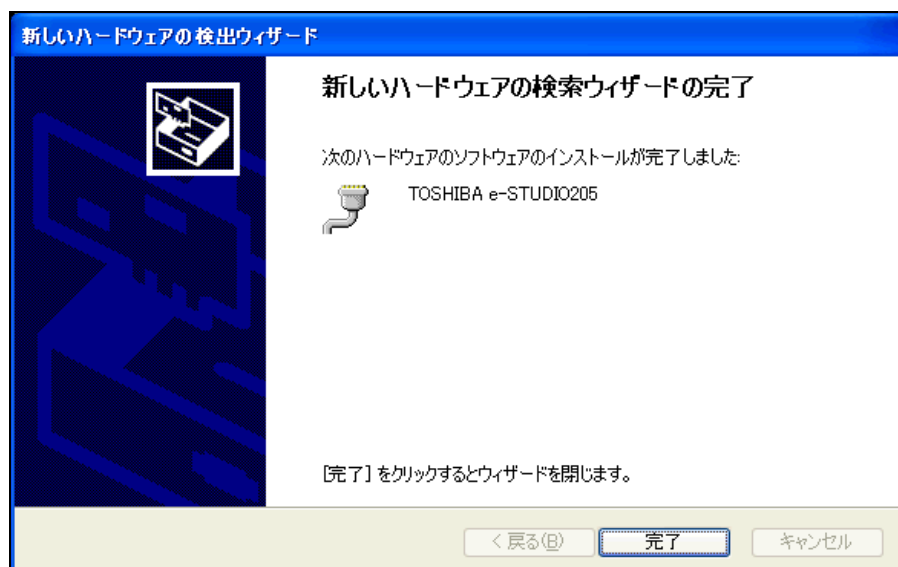
8. Windows の設定環境によって、ドライバが Windows ログテストに合格していないことを示す下記画面が表示される場合があります。**【続行】**をクリックしてください。



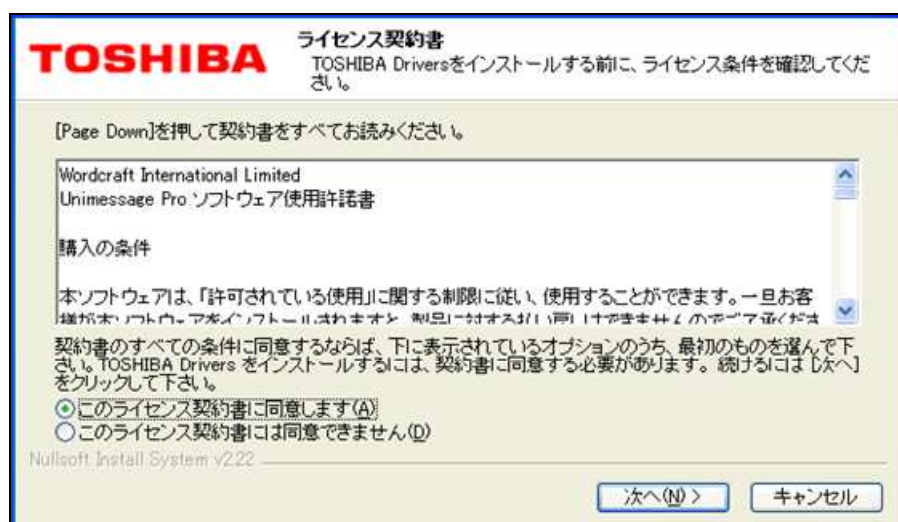
9. USBドライバがインストールされます。



10. **【完了】**をクリックします。

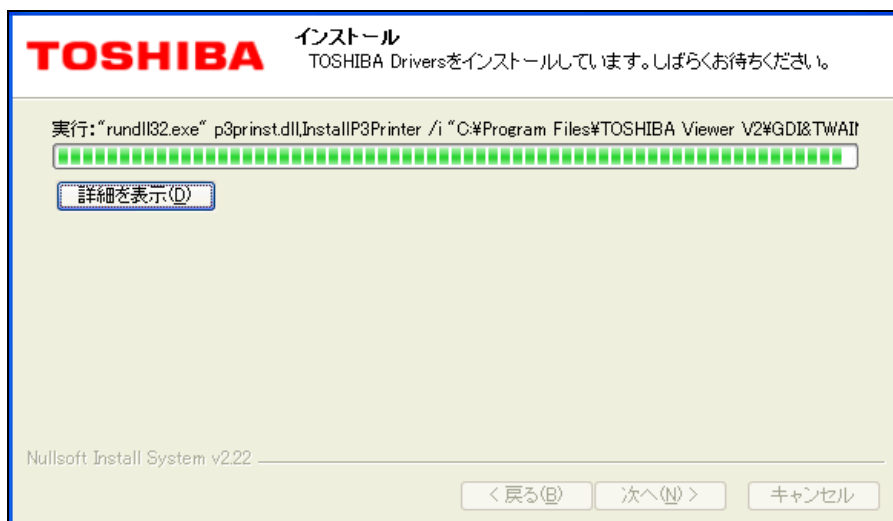


11. 新しい TOSHIBA MFP が接続され、プリンタドライバとスキャナドライバのインストールを開始します。ソフトウェアのライセンス契約を読みます。同意するときは、**【同意する】**をクリックします。**【キャンセル】**をクリックすると、インストールを中止します。



お使いのコンピュータに別の TOSHIBA MFP のプリンタドライバおよびスキャナドライバがインストールされている場合には、この画面は表示されません。

12. CD から各ファイルがコピーされます。



13. **【完了】**をクリックし、インストールを終了します。



ユーザがリモートスキャン操作を実行するには、MFP のデバイスドライバが起動している必要があります。デバイスドライバの起動は、**【スタート】メニューー【すべてのプログラム】ー【TOSHIBA Viewer V2】ー【デバイス】**から行います。TOSHIBA MFP のデバイスドライバを直ちに起動するには、**MFP を使ったりリモートスキャン操作をユーザに許可する**オプションをチェックしたままにしてください。

インストーラが Windows の再起動が必要であると検出した場合は、上記画面が表示されます。



【スタート】メニューー【すべてのプログラム】ー【TOSHIBA Viewer V2】ー【デバイス】ショートカットメニューを**【スタート】メニューー【すべてのプログラム】**内の**「スタートアップ」**フォルダにコピーすれば、ユーザは Windows にログインすると直ぐにリモートスキャン操作を実行できます。

ドライバをネットワーククライアントにインストールする

プリンタドライバをインストールする



ネットワーククライアントにプリンタドライバをインストールする前に、以下を確認してください：

- TOSHIBA MFP が接続されているコンピュータにプリンタドライバおよびスキャナドライバがインストールされていること。ドライバのインストールの詳細は、P.6 から始まるセクションを参照してください。
- TOSHIBA MFP が接続されているコンピュータが共有プリンタとして設定されていること。[スタート]メニュー-[コントロールパネル]-[プリンタとFAX]から、目的のプリンタを右クリックします。表示されるメニューから「共有」を選択してください。

プリンタドライバをネットワーククライアントにインストールすると、TOSHIBA MFP がローカル接続されたコンピュータを介して、各ネットワーククライアントから印刷を行うことができます。Windows XP x86、Vista x86、7 x86、Server 2003 x86 または Server 2008/2008R2 に適用されます。

各ネットワーククライアントでは、下記操作を行います：

1. [スタート]メニュー-[コントロールパネル]から[プリンタとFAX]を開きます。
2. 「プリンタのインストール」をクリックします。
3. 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、プリンタの追加ウィザードに従って、プリンタドライバをネットワーククライアントにインストールします。

東芝 MFP が接続されているコンピュータ、またはプリンタドライバをインストールするリモートコンピュータが、Windows XP、Vista、7、Server 2003 または Server 2008/2008R2 の 64-bit OS の場合は、次の手順でインストールしてください。

1. CD-ROMドライブに TOSHIBA Viewer V2 CD-ROM をセットします。
2. TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューが自動的に起動します。起動しない場合は、スタートメニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。「D:¥Setup.exe」(Dドライブが CD-ROMドライブの場合)を入力し、[OK]をクリックします。



TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューの言語選択一覧から、使用する言語を選択します。

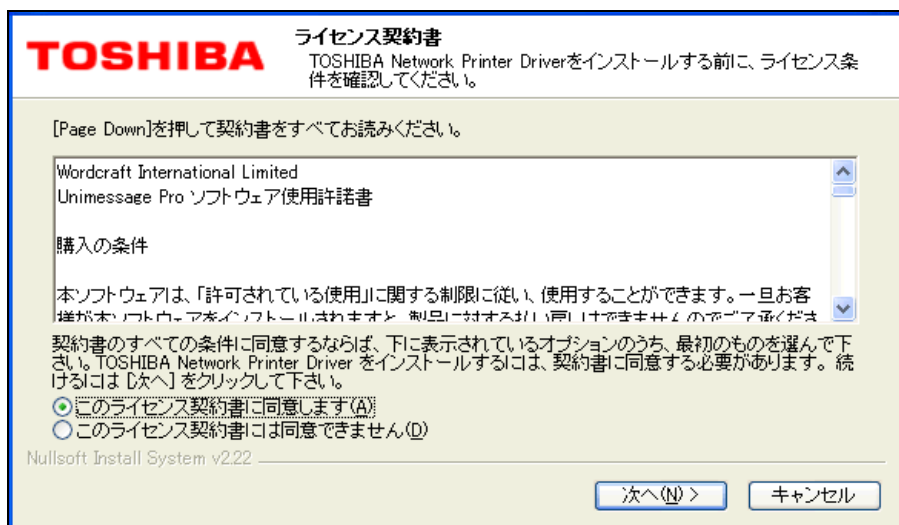
ソフトウェアをインストールします。(ネットワーク共有接続)をクリックします。

3. ネットワーク上の TOSHIBA MFP を使って印刷操作をしますをクリックします。

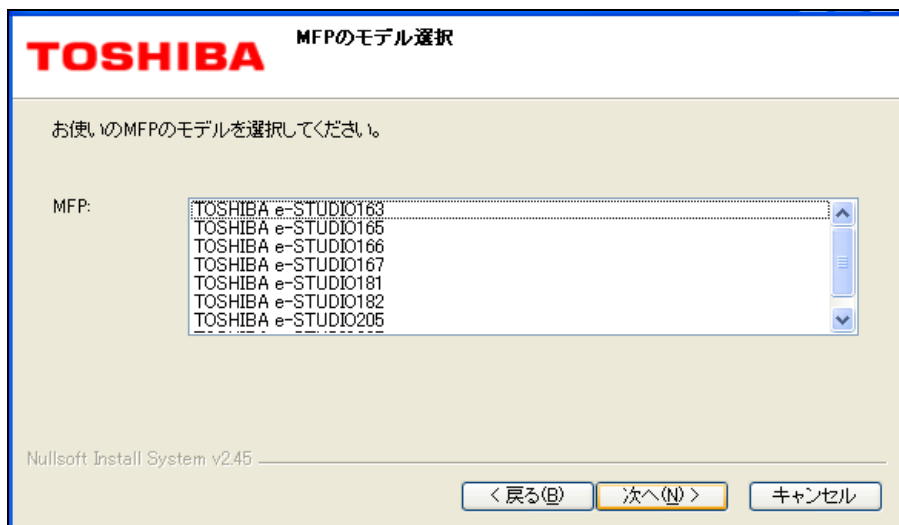


4. ネットワークプリンタドライバのインストーラが起動します。

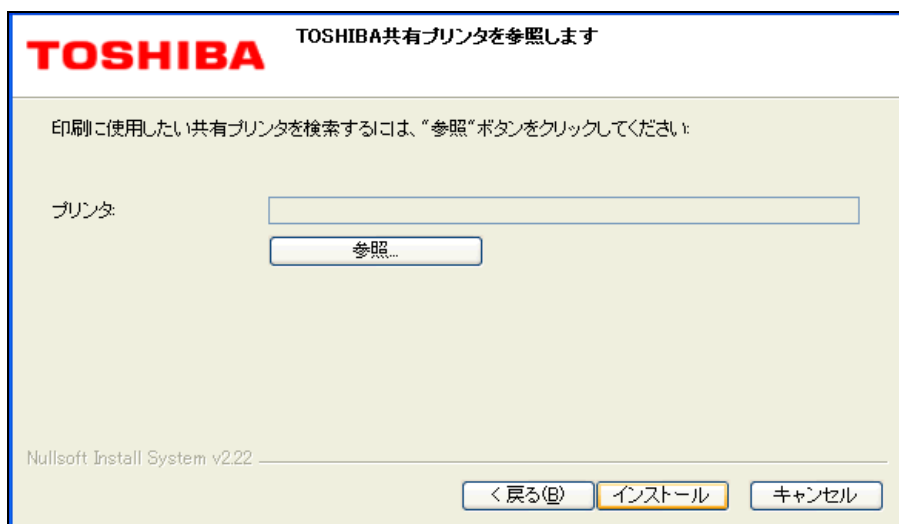
ソフトウェアのライセンス契約を読みます。同意するときは、**[同意する]**をクリックします。**[キャンセル]**をクリックすると、インストールを中止します。



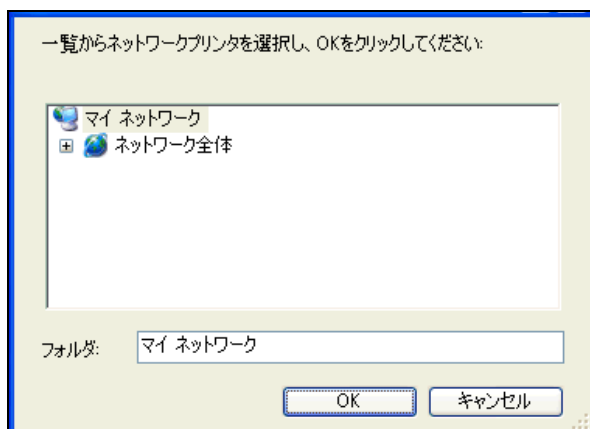
5. お使いになる TOSHIBA MFP のモデルを選択し、**[次へ]**をクリックします。



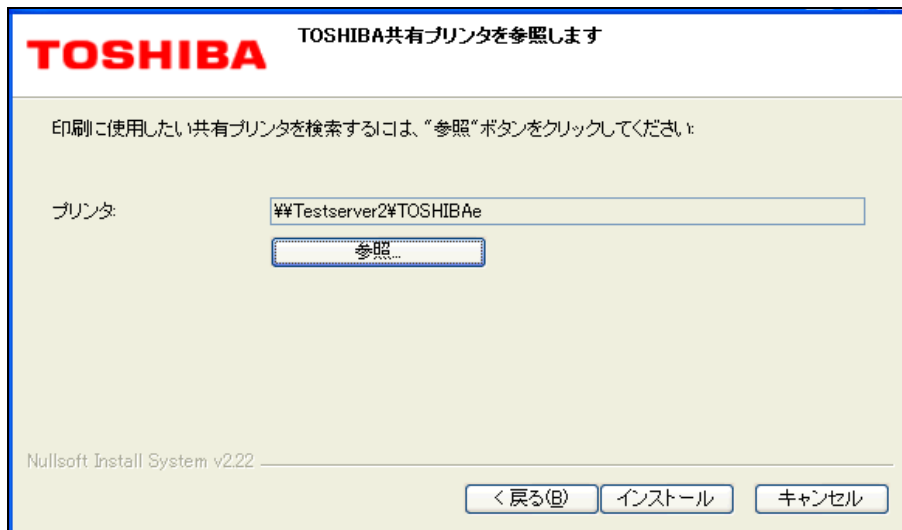
6. **[参照]**をクリックし、共有の東芝プリンタを検索します。



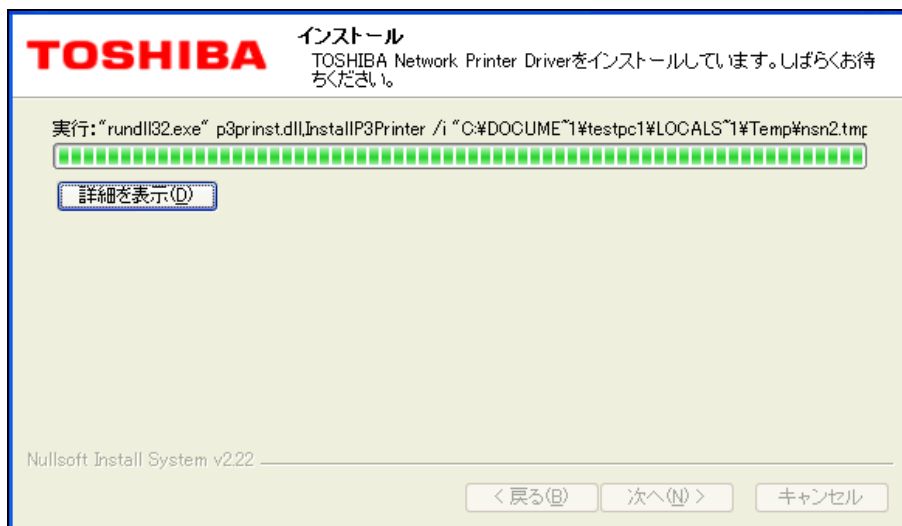
7. 「+」マークをクリックし、共有の東芝プリンタを選択したら、**[OK]**をクリックします。



8. 共有の東芝プリンタのネットワークパスが表示されます。[インストール]をクリックし、続行します。



9. CD から各ファイルがコピーされます。




10. [完了]をクリックし、インストールを終了します。



インストーラが Windows の再起動が必要であると検出した場合は、上記画面が表示されます。

ネットワークスキャナドライバをインストールする

ネットワークスキャナドライバをお使いのコンピュータにインストールすると、ネットワーク上の別のコンピュータに接続されている TOSHIBA MFP を使ってリモートスキャン操作を実行することができます。

 TOSHIBA MFP を使ってリモートスキャン操作を行うには、TOSHIBA MFP が接続されているコンピュータにプリンタドライバおよびスキャナドライバがインストールされ、かつ各ユーザがリモートスキャン操作を許可されている必要があります。詳細は、P.6 から始まるセクションを参照してください。

ドライバをインストールすると、以下の TOSHIBA Viewer V2 アプリケーションも同時にインストールされます。

- ViewerV2 (P3console) : ページをスキャンし、それらをスキャンイメージとして保存するアプリケーションです。
- P3import: 以前の TOSHIBA ソフトウェアからデータをインポートするためのアプリケーションです。以前の TOSHIBA Viewer (V1), SmartLink2000 または ImageVision2000 がインストールされている場合のみ、このアプリケーションはインストールされます。

各ネットワーククライアントでは、下記操作を行います：

1. CD-ROM ドライブに TOSHIBA Viewer V2 CD-ROM をセットします。
2. TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューが自動的に起動します。起動しない場合は、**スタートメニュー** から **[ファイル名を指定して実行]** を選択します。「D: ¥ Setup.exe」(D ドライブが CD-ROM ドライブの場合) を入力し、**[OK]** をクリックします。



TOSHIBA Viewer V2 インストールメニューの言語選択一覧から、使用する言語を選択します。

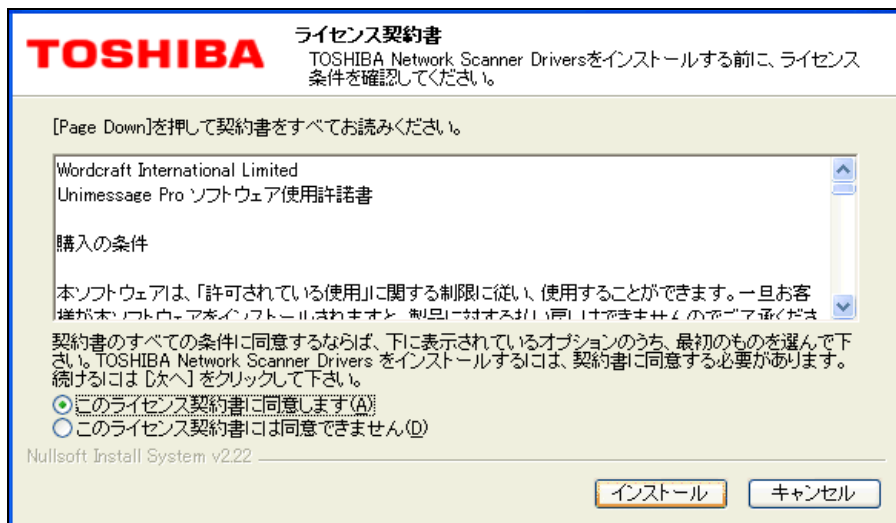
ソフトウェアをインストールします。(ネットワーク共有接続) をクリックします。

3. ネットワーク上の TOSHIBA MFP を使ってリモートスキャン操作をしますをクリックします。



4. プリンタドライバとスキャナドライバのインストーラが起動します。

ソフトウェアのライセンス契約を読みます。同意するときは、**[同意する]**をクリックします。**[キャンセル]**をクリックすると、インストールを中止します。



お使いのコンピュータに別の TOSHIBA MFP のプリンタドライバおよびスキャナドライバがインストールされている場合には、この画面は表示されません。

5. CD から各ファイルがコピーされます。

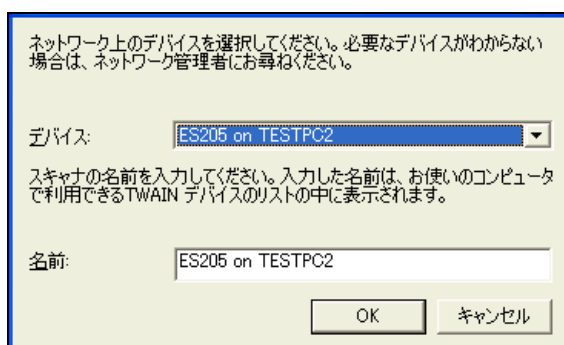


6. **【完了】**をクリックします。

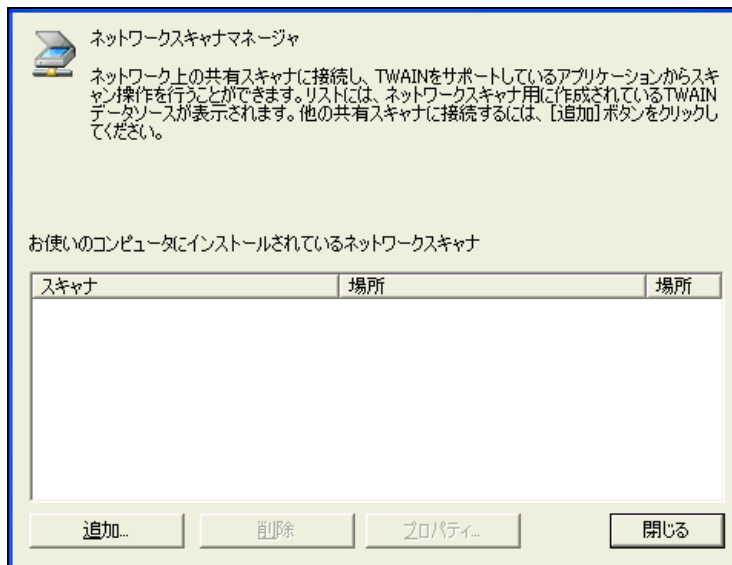


インストーラが Windows の再起動が必要であると検出した場合は、上記画面が表示されます。

7. **ネットワークスキャナ設定**プログラムが自動的に起動します。リモートスキャン操作に使用したい TOSHIBA MFP を選択し、必要に応じて名前を変更したら、**【OK】**をクリックします。



8. お使いのコンピュータからリモートスキャン操作を行える TOSHIBA MFP の一覧が表示されます。**[閉じる]**をクリックし、終了します。



このプログラムは、お使いのコンピュータからリモートスキャン操作を行える TOSHIBA MFP を再設定する際に使用することができます。**[スタート]**メニューー**[すべてのプログラム]**ー**[TOSHIBA Viewer V2]**ー**[ネットワークスキャナ設定]**から起動します。

TOSHIBA MFP が接続されているコンピュータ上でデバイスドライバが起動していれば、各ユーザはリモートスキャン操作を実行することができます。



MFP がローカル接続しているコンピュータ上で、**[スタート]**メニューー**[すべてのプログラム]**ー**[TOSHIBA Viewer V2]**ー**[デバイス]**ショートカットメニューを「**スタートアップ**」フォルダにコピーすれば、ローカルユーザが Windows にログインすると直ちに各リモートユーザはスキャン操作を実行することができます。

アンインストールする

プリンタドライバおよびスキャナドライバをアンインストールする

1. **[スタート]**メニューー**[コントロールパネル]**を選択します。
2. **プログラムの追加と削除**または**プログラムと機能**を選択します。
3. **TOSHIBA プリンタ／スキャナドライバ**を選択し、**[変更と削除]**をクリックします。
4. ファイル削除の確認ダイアログが表示されます。**[はい]**をクリックします。アンインストールを中止する場合は、**[いいえ]**をクリックしてください。
5. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、**[OK]**をクリックして終了します。

ネットワークスキャナドライバをアンインストールする

1. **[スタート]**メニューー**[コントロールパネル]**を選択します。
2. **プログラムの追加と削除**または**プログラムと機能**を選択します。
3. **TOSHIBA ネットワークスキャナドライバ**を選択し、**[変更と削除]**をクリックします。

4. ファイル削除の確認ダイアログが表示されます。**[はい]**をクリックします。アンインストールを中止する場合は、**[いいえ]**をクリックしてください。
5. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、**[OK]**をクリックして終了します。

TOSHIBA Viewer V2 をアンインストールする

1. **[スタート]**メニューー**[コントロールパネル]**を選択します。
2. **プログラムの追加と削除**または**プログラムと機能**を選択します。
3. TOSHIBA Viewer V2 を選択し、**[変更と削除]**をクリックします。
4. ファイル削除の確認ダイアログが表示されます。**[はい]**をクリックします。アンインストールを中止する場合は、**[いいえ]**をクリックしてください。
5. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、**[OK]**をクリックして終了します。

TOSHIBA Viewer V2 を操作する

TOSHIBA Viewer V2

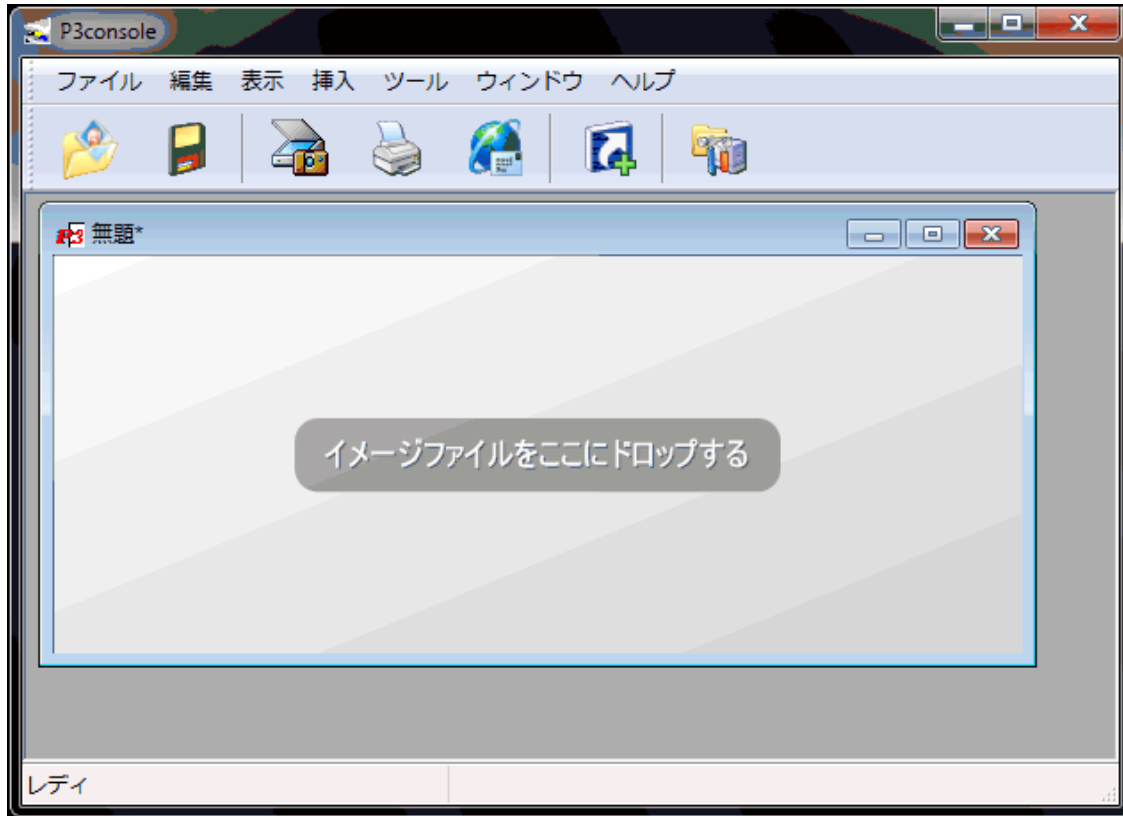
TOSHIBA Viewer V2 アプリケーションは、次の 3 つのコンポーネントで構成されます。

- ビューワ: イメージの表示やスキャン、印刷、保存を行います。また、これらの機能を組み合わせたショートカットメニューを作成します。
- デバイス設定ユーティリティ: コンピュータから TOSHIBA MFP を設定します。
- P3import: コンピュータにインストールされている TOSHIBA Viewer (V1) または Unimessage Pro からデータをインポートします。

ビューワ:P3console

メインディスプレイ

[スタート]メニューー[すべてのプログラム]ー[TOSHIBA Viewer V2]ー[TOSHIBA Viewer V2]からP3console を起動します。



メインディスプレイは、4つのエリアで構成されます。

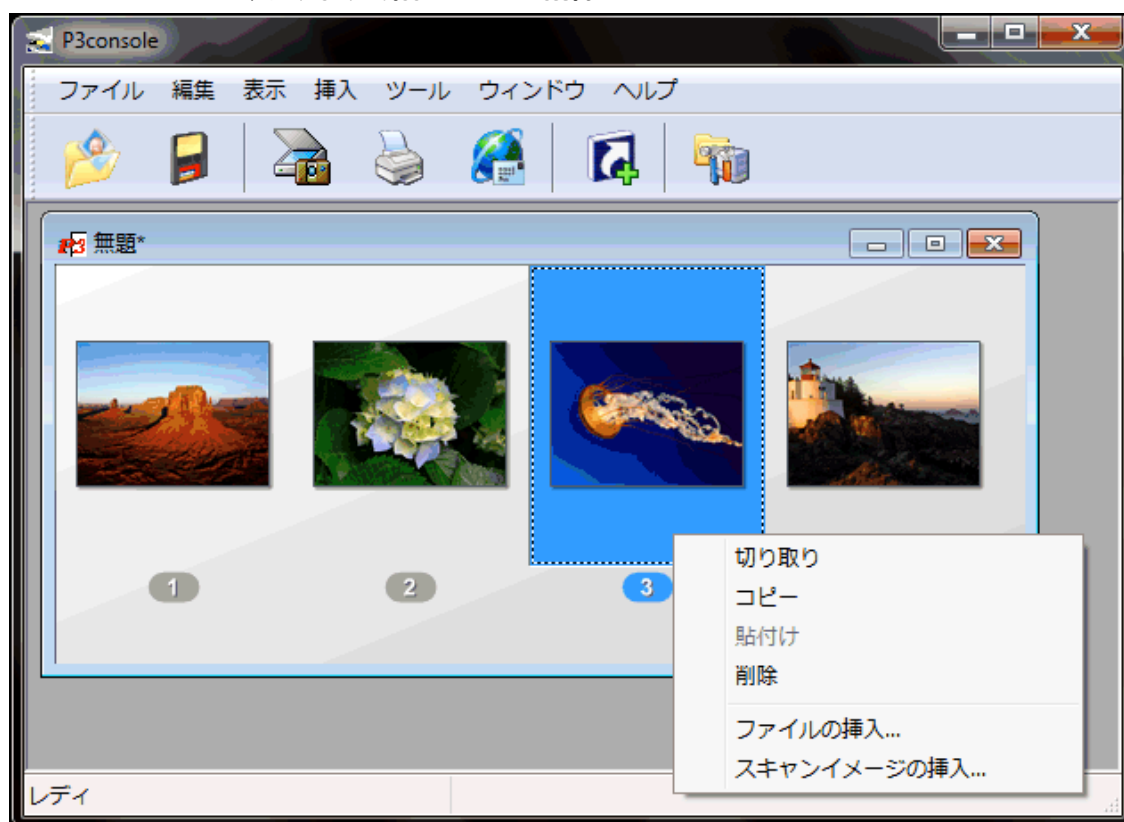
1. メニューバー: **ファイル**、**編集**、**表示**、**挿入**、**ツール**、**ウィンドウ**および**ヘルプ**
2. ツールバー: **開く**、**保存**、**スキャン**、**印刷**、**送信**、**ショートカットの作成**および**プリファレンス**
3. イメージエリア: このエリアに表示されるイメージファイルをそれぞれ個別のウィンドウに開きます。イメージファイルが複数のイメージ(P3console では、ページと呼びます)で構成されている場合は、すべてのページが同じウィンドウにサムネール表示されます。
4. ステータスバー: ステータス情報を表示します。

新しいイメージファイルを作成するには、**ファイルー新規**メニュー、または**ファイルー取得**メニュー、あるいは**スキャン**ツールバーボタンを使います。どのメニューを起動するかは、イメージをどのように作成するかで異なります。

既存のイメージファイルを開くには、**ファイルー開く**メニュー、または**開く**ツールバーボタンを使います。目的のイメージファイルを Windows Explorer から P3console のイメージエリアヘドラッグすることでも、イメージファイルを開くことができます。P3console で個別のイメージファイルを 1 つのファイルに結合するには、Windows の Explorer から目的の複数のファイルを選択し、ドラッグします。または、開くボタンをクリックする前に、開くダイアログで目的の複数のファイルを選択してください。

使用中のイメージファイルに別のイメージを新しいページとして追加するには、**挿入ーファイル**メニュー、または**挿入ースキャンイメージ**メニューを使います。追加したいイメージファイルを Windows Explorer からドラッグし、P3console で開かれているイメージファイルにドロップすることでも、ページを追加することができます。イメージファイルのページを選択するときは、サムネール表示されているページの上をクリックします。複数のページを選択する場合は、パソコンの **Ctrl** キーを押しながら目的のページをクリックしてください。選択されたページの枠は、より色の濃いものとなり、ページ番号が反転表示されます。作業中のイメージファイルの中で、

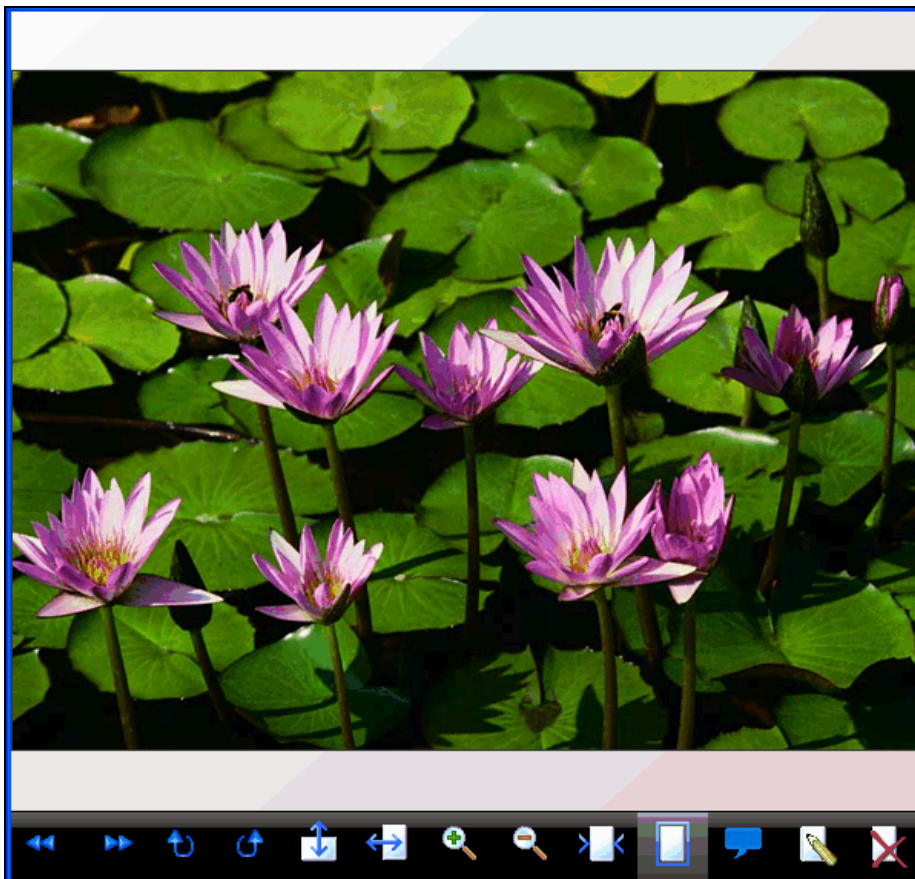
それらのページを目的の場所へドラッグすると、ファイル内のページ順序を変更することができます。また、P3console に開かれている別のイメージファイルに、それらのページを移動することもできます。ページをコピーするには、パソコンの **Ctrl** キーを押しながら、目的のページをドラッグしてください。選択したページの上で右クリックすると、**コピー**、**切り取り**、**貼付け**および**削除**の各メニューを表示することができます。



また、イメージファイル内のページ順序を変更するには、**ツール**ページの**整列**メニューを使うこともできます。

ページビューワ

ページをダブルクリックすると、そのページは拡大表示されます。



ページビューワの下に表示されるツールバーを使って、次の機能を使用することができます：

- イメージの前ページを表示する
- イメージの次ページを表示する
- ページを時計回りに 90 度回転する
- ページを反時計回りに 90 度回転する
- ページを上下反転させる
- ページを左右反転させる
- イメージを拡大表示する
- イメージを縮小表示する
- ページの幅に合わせて表示する
- ページの全体を表示する
- 注釈モードを開始する／終了する

注釈モードでは、ノートをページに追加することができます。

ページビューワを閉じる、あるいは**次ページ／前ページ**ツールバーボタンをクリックするまで、注釈をダブルクリックすれば、注釈を編集したり削除することができます。また、注釈をクリックし、ドラッグすると注釈を移動することもできます。注釈のサイズを変更したい場合は、注釈の枠または角をクリックして、必要な大きさになるまでドラッグしてください。作成したすべての注釈はイメージにマージされ、表示されているページが閉じると注釈を編集したり削除することはできません。

- 外部エディタを使ってイメージを編集する
デフォルトでは、イメージに関連付けられているアプリケーションがイメージの編集に使われます。**アドバンスダイアログのファイル・プレファレンスメニュー**で、目的のアプリケーションを設定することができます。
- イメージからページを削除する



イメージを移動するには、目的のイメージをクリックしドラッグします。イメージを上下にスクロールするには、マウスのホイールを回します。また、イメージを拡大・縮小するには、キーボードの **Ctrl** キーを押しながらマウスのホイールを回します。

スキャンする

P3console は、TWAIN 互換イメージスキャナ (MFP や置き型スキャナ、デジタルカメラなど) からイメージをスキャンしたり、取得することができます。

イメージの取得先を変更するには、**ファイル・スキャナの選択メニュー**を使います。

ページをスキャンし、新しいイメージファイルを作成するには、**ファイル・取得メニュー**または**スキャンツールバー**ボタンを使います。

P3console 内で開かれ、選択されているイメージファイルにスキャンページを追加するには、**[挿入]ー[スキャンイメージ]**を使うか、挿入したいスキャンページを右クリックし、表示されるメニューから**[スキャンイメージの挿入]**を選択します。

スキャンツールバーボタンまたは右クリックメニューの**スキャンイメージの挿入**を使ってイメージを取得するときに、スキャナ設定を変更するための TWAIN ダイアログを表示するかどうかを選択できます。**スキャンセクションのファイル・プレファレンスメニュー**から行ってください。

用紙の両面をスキャンする

用紙の両面をスキャンしたいが、スキャナが対応していない場合には、P3console を使って用紙の両面をスキャンし、1つのイメージファイルとして保存することができます。

- ファイル・取得メニュー**または**スキャンツールバー**ボタンを使って、奇数ページを昇順にスキャンし、新しいイメージファイルとして保存します。
- 挿入ースキャンイメージメニュー**を使って、偶数ページを昇順にスキャンします。
- ツールバーページの整列メニュー**を選択し、**両面**ボタンをクリックして、ページを組み直します。



自動両面原稿送り装置を装着した東芝 MFP を使ってスキャン操作を行う場合は、**両面**オプションを選択して、両面原稿を読み取ることができます。

原稿の上端を整えて、自動両面原稿送り装置に置いてください。

イメージファイルを印刷する

P3console 内で開かれ、選択されているイメージファイルを印刷するには、次の2つの方法があります。

- ファイル・印刷メニュー**を選択します。
Windows の印刷ダイアログが表示されます。
- 印刷ツールバー**ボタンをクリックします。

印刷するページがプリンタで利用できる用紙より大きい場合の処理方法などの印刷オプションを設定できます。また、**印刷ツールバー**ボタンを使ってイメージを印刷するときに、Windows の印刷ダイアログを表示するかどうかを選択できます。**印刷タブの印刷セクション**にある**ファイル・プレファレンスメニュー**から行ってください。

イメージファイルを保存する

イメージファイルを開いた状態、または作成した状態で、P3console の中で選択してください。

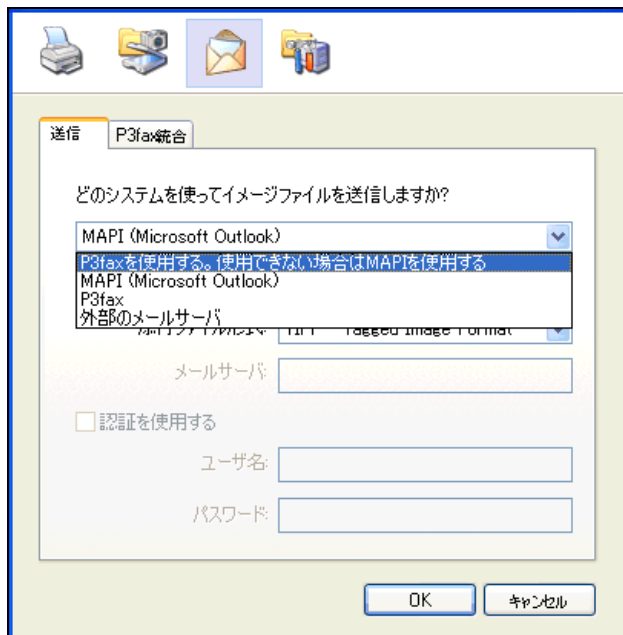
- イメージファイルを新しい名前で保存する、または新しいファイルとして保存するには、**ファイル名前を付けて保存**メニューを使います。元のイメージファイルを置き換えるには、**ファイル保存**メニューを使います。
- **ファイル名前を付けて保存**メニューを選択した場合、またはイメージファイルが保存されていない場合には、**名前を付けて保存**ダイアログが表示されます。最初にイメージファイルを保存したいフォルダを参照します。次にファイル名を入力し、ファイル形式を選択したら、**保存**ボタンをクリックします。

イメージファイルを E メールに添付して送信する、または、P3fax 経由でファクスメッセージとして送信する

P3console で開かれているイメージファイルを、E メールに添付して送信することができます。また、P3fax がインストールされ、P3console のメッセージ配信システムとして選択されている場合には、ファクス番号へ送信することもできます。

- 送信機能を起動するには、次の3つの方法があります：
 - イメージファイルを開いた状態、または作成した状態で、P3console の中で選択してください：
 - **ファイル送信**メニューを選択します。
 - **送信ツールバー**ボタンをクリックします。
 - パソコンの「**Ctrl+D**」を押します。
 - P3fax がインストールされている場合は、Windows アプリケーションから P3 プリンタへ印刷してください。
 - P3console が、別の MAPI 互換アプリケーションを使ってメッセージを送信するように設定されている場合は、新しいメッセージは E メールアプリケーションの中に作成されます。
- そうでなければ、受信者の E メールアドレスを指定するための送信メッセージダイアログが表示されます。また、P3fax がインストールされ、P3console のメッセージ配信システムとして選択されている場合には、ファクス番号を指定することもできます。

P3console のメッセージ配信システムの設定は、**送信**セクションの **ファイルプレファレンス**メニューで行います：



P3console がインストールされているパソコンにある別の MAPI 互換 E メールアプリケーション (Microsoft Outlook Express など) を使ってメッセージを送信するときは、**常時 MAPI を使用する**を選択してください。

SMTP メールサーバに直接接続するときは、**外部のメールサーバ**を選択してください。

P3fax がインストールされている場合は、**常時 P3 メールサーバを使用する**を選択し、**P3fax 統合**タブで詳細設定を行ってください。

P3fax や他の MAPI 互換 E メールアプリケーションでは送信メッセージのコピーを保存できますが、P3console では保存できませんのでご注意ください。

ユーザショートカットを作成する



ショートカットを使用する前に、以下を確認してください。

- プリンタおよびスキャンドライバがインストールされていること
- お使いのデバイスが正しく接続され、電源が入っていること

スキャン機能に**印刷**や**保存**、**送信**の機能を組み合わせたショートカットを作成することができます。作成は、**ツールショートカットの作成**メニューから行ってください。

作成例

- 頻繁にスキャンイメージを特定のフォルダに保存する場合は、**スキャン**または**スキャン(ダイアログ表示)**イメージ作成動作に**保存**動作を組み合わせたショートカットを作成します。出力されるファイル名を指定し、必要に応じて**ファイル名を固有にする**オプションを選択してください。
- スキャン操作をし、スキャンしたページイメージを印刷する場合は、**スキャン**または**スキャン(ダイアログ表示)**イメージ作成動作に**印刷**動作を組み合わせたショートカットを作成します。

作成したショートカットは、デスクトップまたは**スタート-すべてのプログラム**メニューに保存することができます。



ツールバーのショートカットの作成 ボタンから、この機能にアクセスすることもできます。

デバイスを設定する

[スタート]メニューー[すべてのプログラム]ー[TOSHIBA Viewer V2]ー[デバイスセットアップを起動する]からユーティリティを起動します。

コンピュータから設定できる TOSHIBA MFP の一覧が表示されます。目的のデバイスを選択し、**[デバイスセットアップ]**をクリックします。



TOSHIBA MFP から読込んだ設定情報を、デバイス名の下に表示します。設定情報には、電話帳機能に関する情報とデバイスデータに関する情報があります。ツールバーの**[電話帳]**および**[デバイス設定]**を使って、表示する情報を切り替えてください。



デバイス設定を変更する

「データソース」のフレームで設定を変更したい項目を選択し、「現在の設定」のフレームで「+」をクリックして項目の詳細を開きます。

設定の変更を終了したら、ツールバーの**【設定書込み】**をクリックして、変更内容を適用します。



変更したい設定項目の名前はわかっているが、その項目のある場所がわからない場合には、検索機能を使用できます。「**検索**」フィールドに名前を入力し、**【検索】**をクリックします。**【検索】**をクリックするたびに、次に一致する項目を検索します。

デバイス設定をコンピュータに保存する

ユーティリティを起動させるたびに、現在のデバイス設定がデバイスから読み込まれ、常に最新の設定内容が反映されます。



デバイス設定は、デバイス設定ユーティリティに保存するか、ハードディスクに設定ファイルとして保存することができます。また、設定ファイルを別のデバイスにコピーすることもできます。

デバイス設定ユーティリティに保存する

デバイス設定ユーティリティにデバイス設定を保存します。

1. **【設定ファイルの追加】**をダブルクリックして、新しい設定ファイルを作成します。
2. ファイル名を入力します。
3. デバイス設定ファイル(例: ES165)を左クリックしたまま、新規設定ファイルヘドラッグして、クリックを解除します。



最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス設定ファイルの内容が新規設定ファイルへコピーされます。



4. ツールバーの**【設定書込み】**をクリックし、作成した新しい設定を保存します。

ハードディスクにファイルとして保存する

デバイス設定をファイルとして保存します。

1. **【設定ファイルの追加】**をダブルクリックして、新しい設定ファイルを作成します。
2. ファイル名を入力します。
3. デバイス設定ファイル(例: ES165)を左クリックしたまま、新規設定ファイルヘドラッグして、クリックを解除します。



最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス設定ファイルの内容が新規設定ファイルへコピーされます。

4. 新規設定ファイルを右クリックして、**【名前を付けて保存】**を選択します。
5. 設定の保存画面が表示されます。ハードディスク上の保存場所を指定し、ファイル名を入力したら、**【保存】**をクリックします。
6. ハードディスクに設定ファイルとして保存されます。ファイルの拡張子は、「.st2」です。このファイルは、デバイス設定ユーティリティで取り込むことができます。



コンピュータに保存したデバイス設定を書き込む

デバイス設定ユーティリティを使って書き込む

デバイス設定ユーティリティに保存したデバイス設定を目的のデバイスに書き込みます。

1. デバイス設定ファイルを左クリックしたまま、デバイス名 (例: ES165) へドラッグして、クリックを解除します。





最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス設定ファイルの内容が新規設定ファイルへコピーされます。

2. ツールバーの**[設定書込み]**をクリックし、設定を適用します。

ハードディスクに保存したファイルから書き込む

1. **[設定ファイルの追加]**をダブルクリックして、新しい設定ファイルを作成します。
2. 新しい設定ファイルを右クリックして、**[読み込み]**を選択します。
3. 読み込み設定画面が表示されます。目的の設定ファイルを選択し、**[開く]**をクリックします。設定ファイルが読み込まれます。
4. デバイス設定ファイルを左クリックしたまま、デバイス名 (例: ES165) へドラッグして、クリックを解除します。



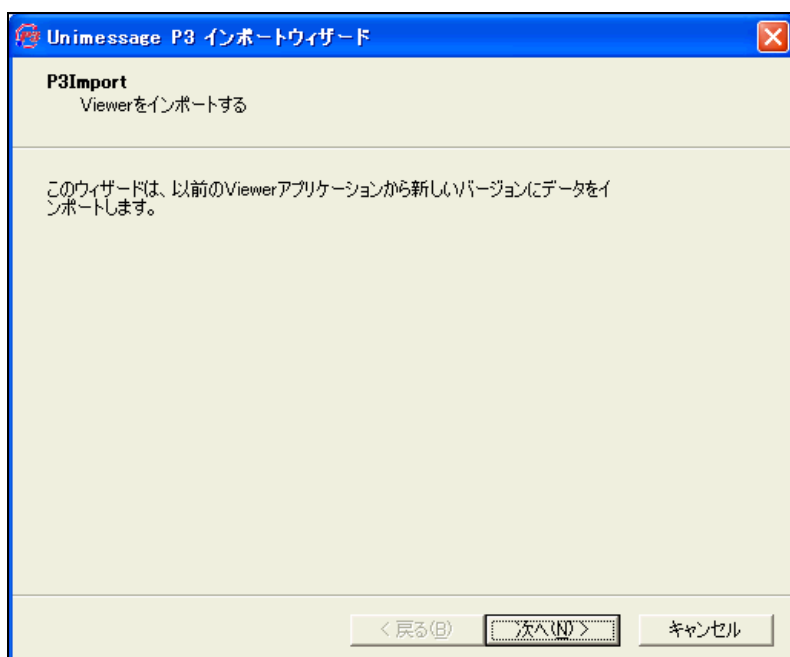
最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス設定ファイルの内容が新規設定ファイルへコピーされます。

5. ツールバーの**[設定書込み]**をクリックし、設定を適用します。

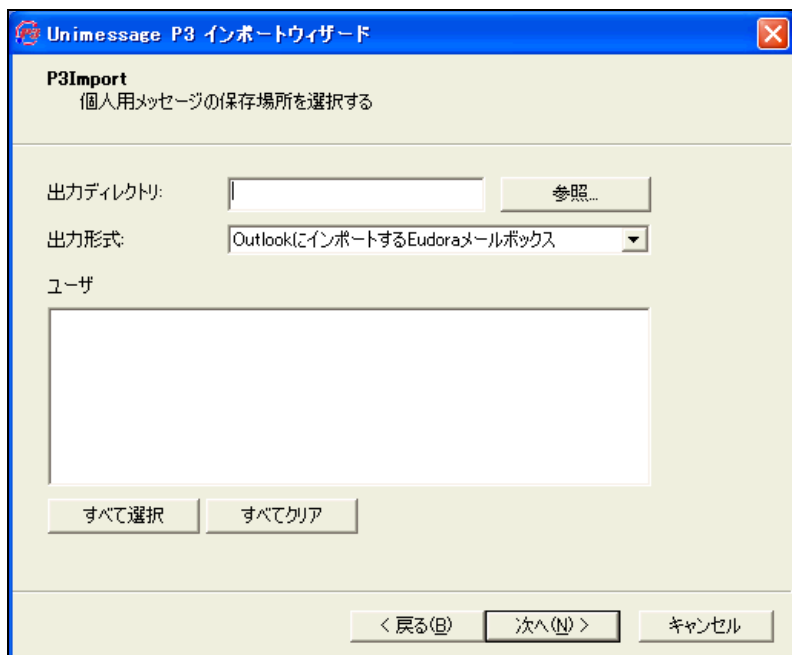
P3import

P3import は、Unimessage Pro ソフトウェアがコンピュータにインストールされている場合にのみ、インストールすることができます。P3import は、以前のソフトウェアに保存されたメッセージをインポートし、変換します。

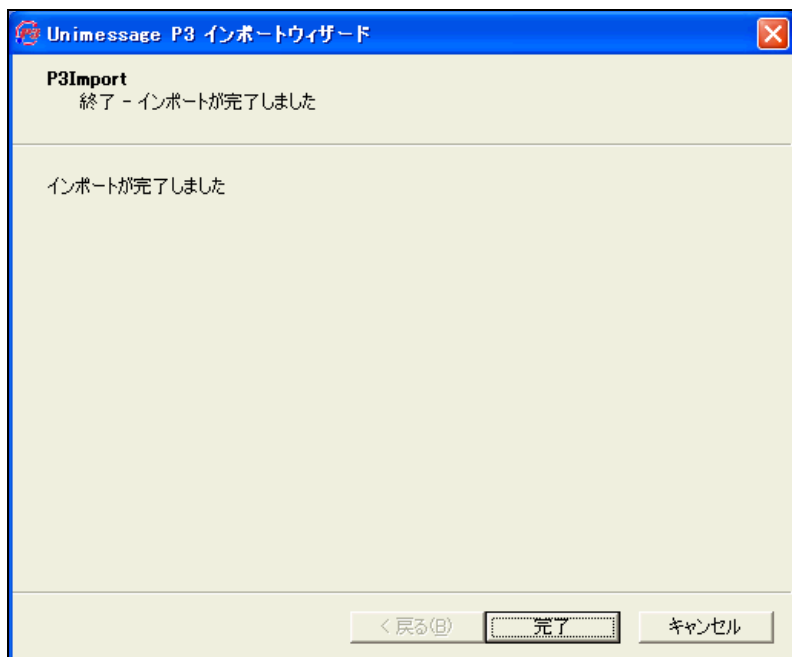
[スタート]メニューー**[すべてのプログラム]**ー**[TOSHIBA Viewer V2]**ー**[P3import]**から P3import を起動し、**[次へ]**をクリックします。



メッセージのインポート先のフォルダやメッセージの保存形式、メッセージをインポートする対象ユーザ（常に TOSHIBA Viewer の MANAGER となります）を選択して、**[次へ]**をクリックします。



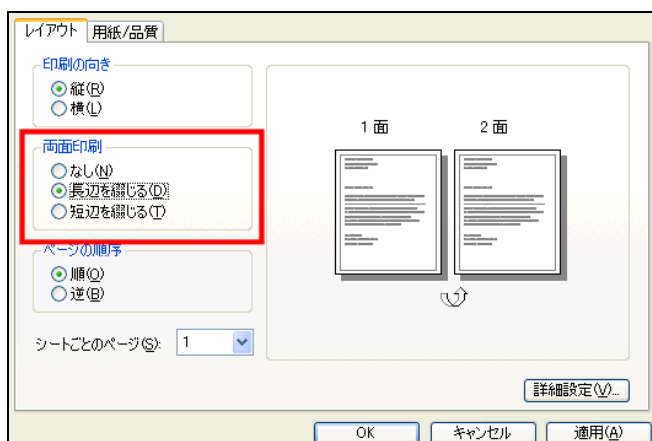
[完了]をクリックして、インポート処理を終了します。



両面印刷

e-STUDIO181/182 では、両面印刷を行うことができます。

上記 MFP のいずれかをご使用の場合は、プリンタの[プロパティ]ダイアログボックスで両面印刷を選択してください。



初めに偶数ページを印刷し、その後に奇数ページを印刷します。あらかじめ会社名や住所などが印刷されたレターヘッド用紙をお使いになる場合は、レターヘッドが印刷された面を下向きにして用紙カセットにセットしてください。

自動両面印刷

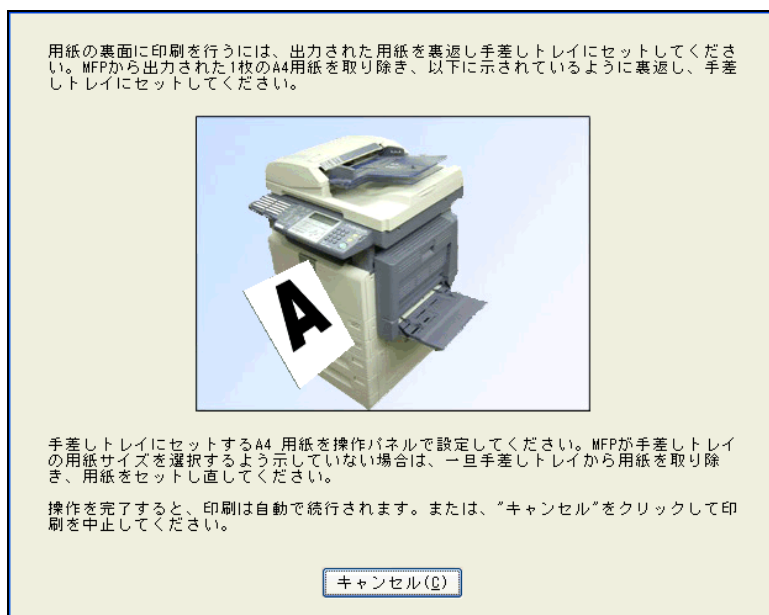
e-STUDIO182 では、オプションの自動両面ユニットが用意されています。このオプションが装着されている場合は、自動で両面印刷を行うことができます。

手動両面印刷

自動両面ユニットが装着されていない場合に両面印刷を行うには、出力された用紙を手動で裏返し、手差しトレイにセットします。

偶数ページを印刷した後に、出力された用紙を裏返し手差しトレイにセットすることにより、奇数ページを印刷することができます。

出力された用紙を手差しトレイにセットするための手順は、MFP が接続されているコンピュータに表示されます。



Windows のプリンタキューにも簡単な手順説明が表示されます。

ヒント

最適な印刷結果を得るために、以下をお勧めします。

- 両面印刷または小冊子印刷を行うときは、ページの順序オプションで「順」を選択してください。
- 小冊子印刷を行うときは、両面印刷オプションで「長辺を綴じる」を選択してください。

トラブルシューティング

プリンタが作成されない

1. デバイスマネージャーを開きます。
2. e-STUDIO MFP がデバイスマネージャーの**ほかのデバイス**に表示されている場合は、以下を参照してください。
 - a. Viewer V2 CD をセットします。
 - b. e-STUDIO を右クリックし、表示されるメニューから**ドライバソフトウェアの更新**を選択します。
Viewer V2 CD の **\Printer** フォルダからドライバをインストールしてください。
3. e-STUDIO MFP がデバイスマネージャーの**ポート (COM と LPT)**に表示されている場合は、以下を参照してください。
 - a. デバイスマネージャーに表示されている COM ポート番号を書き留めます。
 - b. Viewer V2 CD をセットします。
 - c. **ソフトウェアをインストールします。(ローカル接続)**オプションを選択します。
 - d. 画面の指示に従って、TOSHIBA e-STUDIO MFP を接続し電源を入れます。
プリンタのインストールが自動で開始されない場合は、**MFP とポートを手動で選択するには、ここをクリックしてください**リンクをクリックして、お使いの e-STUDIO モデルと手順 a で書き留めた COM ポート番号を選択します。



デバイスマネージャーを表示するには、以下を参照してください。

1. デスクトップの[マイ コンピュータ]または[コンピューター]を右クリックし、表示されるメニューから**管理**を選択します。
2. 左ウィンドウで**デバイスマネージャー**を選択すると、右ウィンドウに内容が表示されます。

ドメインサーバ

ドメインサーバを使用している環境で、Viewer V2/P3fax+ocr をインストールした後に、サーバやネットワーク接続、ユーザアカウントに問題があると表示される場合があります。この場合は、以下の手順でお使いのネットワーク ID を再定義してください。

1. Administrators (管理者) としてログインし、ワークグループに接続します。
2. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「コンピュータ名」タブを選択し、[ネットワーク ID]をクリックして、ネットワーク ID ウィザードを起動します。ここでお使いのネットワークドメイン ID を再定義してください。
3. Windows を再起動すると、ドメインにログインできます。

Excel 2007 でワークシートのすべてが Folio, K8 または 13" LG サイズの用紙に印刷されない

Excel 2007 をアップデートし、余白 (下) を減らしたりフッターを追加してください。

MS Word 2000 に挿入したスキャンイメージが表示されない

TOSHIBA Viewer V2 を使ってイメージをスキャンし保存します。文書にそれらのイメージを挿入するには、Word の [挿入] - [図] - [ファイルから] メニューで行ってください。

MS Word から A4 または Letter 用紙に印刷する際に、文書サイズが若干拡大または縮小される

MS Word の[ツール]⇒[オプション]⇒[印刷]ダイアログの[基本の用紙サイズ(A4/レター)]に合わせて自動調整する]オプションのチェックを外してください。

また、各用紙カセットにセットされている用紙のサイズが本機および TOSHIBA GDI プリンタ上(プリンタの[プロパティ]⇒[デバイス設定]ダイアログ)で正しく設定されていることを確認してください。

パターン/色を配した Microsoft Excel のセルが真っ黒に印刷されてしまう

以下のいずれかを行ってください。

- ・ 他のパターン/色を設定してください。
- ・ Excel ファイルを Microsoft Office Document Image Writer を使って MDI 出力するか、Microsoft XPS Document Writer を使って XPS 出力し、そのファイルを東芝 MFP で印刷してみてください。

手動両面の動画が表示されない

Windows のディスプレイドライバを更新するか、「Program Files\TOSHIBA Viewer V2\GDI&TWAIN」フォルダに保存されている「eSxxx.DEV」ファイルをテキストエディタで開き、「SOFTWARE_RENDER=NO」を「SOFTWARE_RENDER=YES」に変更してください。